

病院を守る会第2回総会開かれる 公開講演会、地区別の会員懇談会、 会員拡大・ボランティア活動を積極的にすすめよう

会員の力を持ち寄り、一歩前へ



【挨拶する北村会長代行】

5月22日（日）午後市役所東会議室において、第2回病院を守る会総会が開かれました。西沢唯芳幹事の司会により、松沢郁子副会長が開会のあいさつ、北村喜男会長代行があいさつをしました。【別掲】

来賓祝辞では開設者の牛越徹市長、大厩富義市議会議員、山田博美院長が挨拶された。北村会長代行を議長に選出し出席者数の確認報告と総会の成立が宣言され、議事に入った。

- ①平成22年度事業報告が種山事務局長から
- ②平成22年度決算報告が高橋次長から
- ③平成22年度監査報告が内山博監査から報告され、質疑の後承認されました。

つづいて

- ④平成23年度事業計画（案）について種山事務局長から、議案記載の方針を提起し、特に公開講演会開催、会員の各地区ごとの懇談会の開催、会員の拡大について力を入れて取り組みたいと提案されました。

会費を値上げします

- ⑤会則の改正（案）は決算状況をもとに、会費の値上げについて会報の郵送や印刷にかかる費用が多くなっており、現行会費収入だけでは会の運営が困難であるとの理由から個人会費500円を1000円に、団体会費1000円を2000円に値上げすることについて高橋次長から、提案がありました。



- ⑥平成23年度予算（案）が高橋次長から提案されました。本年度は会費値上げと、きら

りかがやく協働の街づくり補助金が受けられるようになった。補助金は公開講演会の講師謝礼と、地区懇談会、ユニホームのベストを作る費用などとして使われる。今年度の予算案は協働の街づくり補助金の予算項目を準用していることも報告されました。各議題ごとに質疑の後原案通り可決承認されました。

- ⑦ 役員選出は会議に諮り、「事務局一任」の発議の後 幹事会案が提案され了承された。全役員の紹介のあと北村喜男新会長が代表し就任のあいさつをしました。



【就任挨拶をする北村会長】

2011年度役員

会長 北村喜男 副会長 松沢郁子・海川明文
 事務局長 種山博茂 事務局次長 塩原義夫・宮脇哲子・高橋博久・西沢唯芳
 幹事(大町)磯貝匡弘・神社正幸・興国和美・小林千恵子・黒岩良介・江津悌雄・平林信子・松本武子・(平)宮島邦夫・(常盤)清水あさひ・(社) 渋谷見博・(八坂) 小林真奈美・(美麻)(種山博茂)・(白馬)篠崎久美子・田中栄一(小谷)竹田保二・(病院労)西澤ひろみ・(体協)種山良治・(市職労)井沢公一・(病院)村山司・(行政)吉沢義雄・西沢正敏・監事 内山博・西沢忠司
 なお参加者は委任状54名、参加者32名の合計86名でした。

総会で出された意見と質問

Q 会報はどの範囲に配布されているか・・・A 会員には全員に、病院の職員と医師、病院のロビーにおいている。また議会、マスコミ、連合地協役員にも配布している。

Q メールでの配信はできないか・・・A 写真を多く掲載しているため、容量が大きくメールでの配信はできない。病院のホームページにリンクして守る会の会報などを載せていただくように話を進めている。

Q 議会で問題になっている病院の赤字についての対応は

Q 病院職員の専門職化を進める必要がありはしないか

Q 市の販売している水道水の利益を病院会計に入れる署名をしたらどうか

A 経営問題や人事問題は病院に任せる。

Q 予算見積りでの会員の数が少ないが・・・A すでになくなった会員が複数、退会を意思表示した会員も複数おり、確実な会員数で計上した。会員の拡大につとめたい。

Q きらりかがやく協働の街づくりの補助金は飲食費に使うことはできない。会費で対応することの説明を。・・・A 新任医師の歓迎費は補助金を使うことはできないので、会員の会費で対応することとした。

来賓祝辞要旨

牛越徹市長（大町病院開設者）



東日本大震災に際し、大町病院から、3月

11日、震災発生の日、DMAT チーム5名を現地に派遣はじめ、その後も医療チームを3回派遣、広域消防は6次にわたり、その他給水車、保健師などの派遣で大町は震災対応に貢献してきた。昨年以来内科医の確保や病院祭の開催など病院職員の士気は上がってきた。引き続き守る会の皆さんの支援をお願いしたい。

山田博美病院長あいさつ



病院の活性化が進んでいる。守る会の皆さんの存在が心のよりどころとなっている。4月に事業管理者が変わった。前任の赤羽管理者の努力により内科医が確保され、経営はよくなってきている。DMAT 派遣に見られるように大町病院は底力はある。スタッフが少ない中でがんばっている。医師修学資金貸与制度を創設した。3人が受けており6年後には医師を確保できる見通しとなった。経営ではアドバイザーを置いてアドバイスを受けている。バックアップをお願いしたい。スタッフの不足、薬剤師、技師、医師などの情報があったら教えていただきたい。

大厩富義市議会議員

市議会でも一昨年度から委員会を設置し真剣に取り組んでいる。今年は委員会をさらに充実し、病院の存続をめざしていく。

広範に取り組まれている、守る会の活動に期待したい。

公務のため出席できなかった諏訪光昭県議からはメッセージが寄せられた。

北村喜男会長の挨拶（要旨）

本日は第2回市立大町総合病院を守る会総会にご参加いただきありがとうございます。また来賓として大町市長牛越徹様、市議会議長大厩富義様、大町病院長山田博美様にはご多忙の中本総会にご列席いただき深く感謝します。さて、昨年5月30日に設立しました「市立大町総合病院を守る会」も結成から1年がたとうとしております。各地で地域医療が崩壊する昨今、大北地域にもその波が押し寄せてくる中、地域の中核病院、市立大町総合病院を何としても守ろうと始めた小さな運動がやがて多くの皆様の賛同を得てこのような大きな力となり本日第2回目の総会を迎えることができました。地域医療の崩壊は地域の崩壊へとつながる大変深刻な問題でありそれだけに地域の関心も高くこの会の活動も大変に大きな意味を持つものとなってきています。ところで、さる3月11日の東日本大地震で被災された方々の避難所の様子が報道されました。大変つらい避難所生活を強いられている中で、子供たちが避難所の人たちを励まそうと作った手作りの壁新聞が避難所の人たちを元気づける様子が映し出されました。手近なものをつくった大変にささやかな新聞ではありますが、それは確かに避難所の人たちを励ますものでした。私たちの活動も1つ1つはささやかなものであってもこの子供たちが作った壁新聞の様に病院の方々や地域の人たちを支える確かな活動でありたいと願っております。しかしながら、まだ発足して1年足らずの活動であり、手探りの状況であります。今後さらに意味ある運動としていくためにもこの後行われます議事の中で、皆様の活発な意見をいただきたいと思っております。最後になりますが、来る5月29日に第1回大町病院の病院祭が行われます。ぜひ多くの皆様の参加とご協力をお願いしますとともに今後も「守る会」の活動に積極的にご協力くださいますようお願い申し上げます。

みんなで、会報発送作業がんばる



4月27日幹事会前に、会報の発送を幹事全員で行いました。折り込み、封詰め、のりつけ、あて名シール張り、発送先仕訳を皆でやれば短時間で済みました。お疲れさまでした。

プランター植えの花が病院玄関に届く



(↑訪れた市民が花を眺めていました。)

おきな草は須沼の曾根原さん、しろい花は白塩町の西澤さんが贈ってくれました。すずらんの花も届き、けなげな花を咲かせています。会員が当番で水くれています。病院へ来た折に花が枯れそうになったら水をくれてください。

布切りボランティアに協力を

寄せられた布を約 15Cm 四方の大きさに裁断する作業です。家でも病院でもできます。

作業方法

参加は個人でもグループでも、長期でも短期(1回)でも歓迎します。病院内での作業は午前 9時から 11時半までの半日です。参加いただける方は作業室の準備のため事前に病院矢口看護部長へ(TEL 22-0415)まで連絡をください。

Aコース・・・家庭にある古布を 15Cm 四方に切って大町病院へ届ける。

Bコース・・・病院にある古布を家に持って帰り切ったのち、病院へ届ける

Cコース・・・各自の都合のよい日に病院で切る。

現在 月・木曜日に作業中。その他の日に受け入れ可能。

場所 大町病院ボランティア室

Dコース・・・定例布切り グループ、個人で可。午前9時から 11時半まで。大町病院大会議室。

診察待ちの時間を利用してやっていただいている方もいます。また、家へ持って帰ってやっていただいても結構です。

第1回幹事会報告 6/8

今年度の事業実施計画について協議し決定。

① 新任医師歓迎会について

実施時期 7月15日(金)午後6時半
会費 5000円 黒部観光ホテル

② 会員、市民対象の公開講演会開

実施時期 10月1日(土)
講師予定 江口泰宏氏(学習院女子)

③ 地域懇談会(車座的集会 7箇所程度)

9月末頃までに実施。決まった地区は大町北部
7月21日19時から、南部7月16日18時30分
から会場はいずれも総合福祉センター。

④ 医師、看護師・職員との懇談会(8~9月)

⑤ 病院の庭木の剪定・花植栽 10月30日
(日) 午後1時から